



NEWS LETTER

No.14
2018.8

産学連携センターは

「地域未来協創本部」

に生まれ変わりました

CONTENTS

- 地域と共に未来を拓く、
島根版メディカル・
イノベーション……… 1
- 広域に拡大する
「やさしい医工連携」… 2
- 人材育成……… 3
- イベント展示発表・
講演会等… 4
- Topics……… 6



地域と共に未来を拓く、島根版メディカル・イノベーション — 地方大学の危機感と希望 —



島根大学地域未来協創本部・地域医学共同研究部門
部門長・教授 中村守彦

本年4月に、旧産学連携センターが発展的改組され、地域未来協創本部として再スタートしました。これまで以上に未来を見据えて地域との関わりを深くして参ります。

2004年の国立大学の法人化前（2002-2003）に、総合国立大学と医科系単科大学が慌た^{あわ}だしく統合され、島根大学も経験しています。そして子供の数は減り続け、次はさらに大型の大学統廃合・再編が間近に迫っています。地域との連携状況や大学存立の価値を問われるのは間違いありません。

島根大学は、特色ある国際的な研究の推進を目指しており、当部門も再生医療など先端医療研究の社会実装（ここでは医療機器や医薬品等を医療現場へ届けること）を支援しています。然しながら、我が国で純国産の高度医療機器（薬事承認レベル4程度）や医薬品が次々と誕生している訳ではなく、地域で早期に「知」を社会還元するには難しい側面があります。

一方、島根大学は、公開した「ビジョンと戦略」の中で、『地域社会における課題の解決に資する研究や産学官連携研究を推進し、地域の創生・発展に貢献する。』と宣言しました。そして正にこれを実践しているのが「やさしい医工連携」です。出雲市を中心に進めてきたこの取り組みも現在は広域に拡大し、地元企業が中核となって社会実装された医療関連機器は少なくありません（次頁参照）。先端医療研究を進めつつ、地域社会へ目に見える成果を届け続けることができれば理想的です。決して卑屈な意味合いではなく、「身の丈にあった」この地域でのモノづくりに、今後は一層、力を入れるべきでしょう。危機感と希望を持って次世代に未来を託すため、「やさしい医工連携」を成熟させたいと考えています。

今後も皆様のご理解とご支援を賜りたく存じます。

広域に拡大する「やさしい医工連携」

出雲市

- ・LEDナースライト (Doライト(株)、(株)島根富士通)
- ・点滴針固定アームバンド (有)スリーケー)
- ・薬理学実習シミュレータ「Pharmacology-PICOS」 (株)イーグリッド)
- ・折り畳み式簡易型採血台 (出雲木工(株))
- ・マグネット鉗子 (キシ・エンジニアリング(株))
- ・動脈穿刺デバイス (株)ジェイ・エム・エス)
- ・ICTによるヘルスケア支援システム (株)バイタルリード)
- ・インスリンバイアルアダプター (有)出雲樹脂)
- ・心肺運動負荷試験における意思疎通法 (株)日本ハイソフト)
- ・褥瘡予防システム (浅尾繊維工業(株)、(株)研電社)
- ・音声認識システム (出雲消防本部)



境港市

- ・キッチン・キトサンを利用した新規診断系 (甲陽ケミカル(株))



大田市

- ・「さ姫」による緩和効果
- ・「さ姫」による食環境への効果 (有)奥出雲薔薇園)



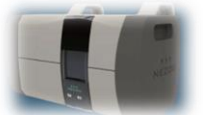
米子市

- ・双方向通信システム
ミュー太 (V・TEC(株))



安来市

- ・転倒予防防止システム
- ・褥瘡予防システム
- ・寝僧 (有)山陰制御)



松江市

- ・ストレッチャー滴下漏水防止シート (有)リパティソリューション)



雲南市

- ・点滴針固定アームバンド (有)ともみ工房)
- ・マタニティ白衣 (大東白衣)



製品化 (社会実装) した医療関連用品



ナースライト



折り畳み式
採血台



マタニティ白衣



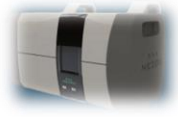
ミュー太
(遠隔地医療)



薬理学実習
シミュレータ



音声認識
システム
(救急医療)



寝僧
(離床センサー)

近日発売開始予定の医療関連用品



ストレッチャー滴下
漏水防止シート



点滴針固定
アームバンド



動脈穿刺デバイス (イメージ図)
<薬事承認申請中>

「やさしい医工連携」を未来へ託す…



昨年度より「やさしい医工連携」成果の実体験も始めました！

【高大連携フィールド学習】

参加高校：松江南高校 20名(H29.10), 出雲高校 37名(H30.7), 益田高校 19名(H30.7)
実施場所：地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

ナースライト



マグネット鉗子

点滴サポーター

音声認識システム

【医学科・看護学科1年生，大学院生】

点滴サポーター

マグネット鉗子

音声認識システム

ナースライト

★『やさしい医工連携』のための病院見学ツアーおよび意見交換会

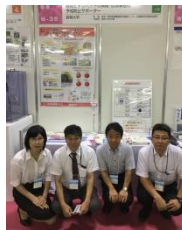
日時：平成29年8月5日(土)
内容：高度外傷センターの見学、産学官の意見交換会



見学会の様子

★イノベーション・ジャパン2017

日時：平成29年8月31日(木)～9月1日(金)
場所：東京ビッグサイト
出展・JSTショートプレゼン：
「病院ヒヤリハットの横綱・点滴事故の予知防止サポーター」



地域未来協創本部 出展ブース前にて

★平成29年度 鳥根大学医学部知的財産戦略セミナー

日時：平成29年9月15日(金)
場所：医学図書館視聴覚室
講師：日本医療研究開発機構 (AMED) 知的財産部の岩谷一臣部長



セミナーの様子

★国際医療福祉機器展 H.C.R. 2017

日時：平成29年9月27日(水)～29日(木)
場所：東京ビッグサイト
出展：出雲市：介護を支える出雲のものづくり
(ナースライト、点滴サポーター)



出雲市 出展ブース全景



ナースライトの
出展

★寧夏医科大学の学生が当センターを訪問

日時：平成29年10月12日(木)



点滴サポーターの実体験



マグネット鉗子の実体験



ナースライトの実体験



集合写真

★アグリ・メディカル新技術説明会

日時：平成29年10月24日(火)
場所：JST別館ホール
発表：「Epstein-Barrウイルス関連癌に特異的な抗腫瘍剤」
医学科 教授 吉山裕規
「タグ抗体でお悩みのあなた！新しいシステムができました」
地域未来協創本部 教授 中村守彦



中村教授の発表



吉山教授の発表

★いずも産業未来博2017

日時：平成29年11月3日(金)～4日(土)
場所：出雲ドーム



医学科生による
LEDライトの展示説明



出雲西高校生による
マグネット鉗子の展示説明



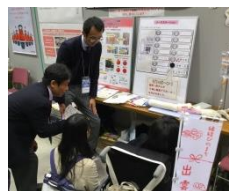
地域未来協創本部
地域医学共同研究部門の
ブースを訪れた長岡市長



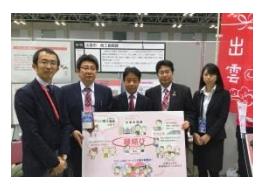
地域未来協創本部
地域医学共同研究部門の
ブース全景

★しまね大交流会2017

日時：平成29年11月18日(土)
場所：くにびきメッセ大展示場
出展：「病院ヒヤリハットの横綱・
点滴事故の予知防止サポーター」



「点滴事故の予知防止サポーター」
出展ブース



点滴針固定アームバンドの開発に
携わった産学官の関係者

★市民公開講座

日時：平成29年11月11日(土)
 場所：医学部講義棟 国際交流ラウンジ
 講演：「発明を通じた環境にやさしい暮らし」 地域未来協創本部 教授 中村守彦



中村教授の講演

★「ハンズフリーLEDライト」の製造・販売についての報道発表

日時：平成29年12月4日(月)
 場所：鳥根県庁記者クラブ
 報道：NHK, 日本経済新聞, 鳥根日日新聞, 山陰中央新報



初出荷式 記念撮影



記者発表の様子

★「ハンズフリーLEDライト」の初出荷式

日時：平成29年12月18日(月)
 場所：株式会社島根富士通



贈呈式 記念撮影



開発した
ハンズフリーLEDライト

★「ハンズフリーLEDライト」の贈呈式

日時：平成30年1月11日(木)
 場所：地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

★中央西日本メディカル・イノベーション2018

日時：平成30年1月31日(水)
 場所：岡山大学
 シーズ発表：「看護・介護の場ををやさしく照らす次世代型LEDライトの開発」



中村教授によるシーズ発表



パネルディスカッションの様子



会場の様子



出展ブース前にて

★第24回 国際生化学会

日時：平成30年6月4日(月)～8日(金)
 場所：韓国ソウル
 発表(口頭&ポスター)：
 「Ubiquitin-like protein MNSF β is disaggregated and regulates cell proliferation」
 地域未来協創本部 教授 中村守彦



学会場にて(中村教授)



Ciechanover博士(ノーベル化学賞受賞者)との記念撮影

★薬理学実習シミュレータ『Pharmaco-PICOS』の製品販売についての報道発表

日時：平成30年6月28日(金)
 場所：医学部本部棟大会議室
 報道：NHK, 山陰中央新報, 読売新聞, 朝日新聞,
 日本経済新聞, 鳥根日日新聞



記者発表の様子

★産学・医工連携講演会

日時：平成30年7月25日(水)
 場所：米子コンベンションセンター
 講演：「地域中小企業が主役で最新医療に挑戦する『やさしい医工連携』」
 地域未来協創本部 教授 中村守彦



中村教授の講演の様子



「Pharmaco-PICOS」

イベント開催

★やさしい医工連携シンポジウム2018

日時：平成30年3月28日(水)

場所：ビッグハート出雲

講演：『「やさしい医工連携」が秘めた地域創生の可能性』
『産学官連携に果たす金融機関の役割と期待』

地域未来協創本部 教授 中村守彦

山陰合同銀行 地域振興部 地方創生担当部長 西郷克典



中村教授の講演



パネル討論の様子



展示ブースでの説明

イノベーション・ジャパン2018
展示発表!

Topics

食の概念を変え食事制限の悩みを一発解決する無限レシピシステム

～鍋・包丁・手間いらずで365日 家庭料理～

研究背景

疾病患者（糖尿病、心臓病、腎臓病など）の制限食（糖分、塩分、カリウム、水分など）の献立はレパートリーが限られており、在宅での栄養管理は極めて困難である。

技術概要

本技術は、焼く・煮る・蒸すなど予め加熱処理してあり、異なる食材パック（主として冷凍保存）をQRコードやバーコード等により自宅管理して、ICTを活用して、現在ある在庫食材で理想献立を日々提案できるシステムである。

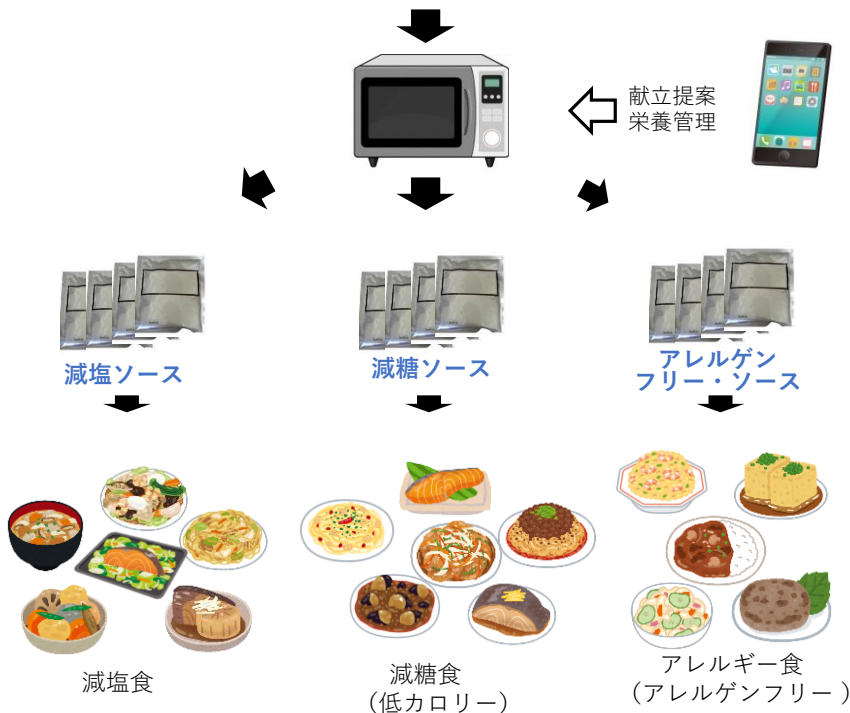
本システムは、予め加熱処理してあるので解凍・盛り合わせにより多数の献立を簡便に享受可能となる。

知的財産権

発明の名称 調理支援システム
出願人 島根大学
発明者 中村守彦
出願日 2016年5月27日
出願番号 特願2016-106664



加熱調理済みカット冷凍食材（未調味）



地域未来協創本部は、ますます窓口を広げて皆様からのご連絡をお待ちしております。

News Letter No.14 2018年8月発行

島根大学 地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL 0853-20-2912

FAX 0853-20-2913

E-mail cmrc@med.shimane-u.ac.jp

http://www.med.shimane-u.ac.jp/CMRC/index2.htm